

小学校学習指導要領

特別活動の改訂のポイント

文部科学省

初等中等教育局

教育課程課教科調査官 安部 恭子



独立行政法人教職員支援機構

「小学校 特別活動」の改訂のポイントは？

- 育成を目指す資質・能力を踏まえ、**小・中・高等学校の系統性**を考慮して目標や内容を設定。
- 「**人間関係形成**」「**社会参画**」「**自己実現**」の三つの視点に基づき、各活動・学校行事を通して育成を目指す資質・能力を明確化し、そのために重視する学習過程を明確化。
- 自治的能力や主権者として積極的に社会参画する力を重視。

「小学校 特別活動」の改訂のポイントは？

- 学級活動における自発的、自治的な活動を中心として**学級経営の充実**を図ること、**いじめの未然防止**等を含めた生徒指導と関連を図ることを明記。
- 特別活動が**キャリア教育の要**としての役割を果たすことから、学級活動の内容に(3)を設定。キャリア教育の視点からの小・中・高等学校のつながりを明確化。
- 多様な他者との交流や協働、安全・防災等の視点を重視。
- 各教科等との往還。特別活動における主体的・対話的で深い学びの実現。

「小学校 特別活動」の目標は？

特別活動全体を通して育成を目指す資質・能力を第1の目標において示した

第6章 特別活動

第1 目 標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。

「小学校 特別活動」の目標は？

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

育成を目指す資質・能力は？

「知識及び技能」

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。



- ・合意形成を図るための話合いの手順や方法の理解
- ・基本的な生活習慣、学校生活のきまりやその意義の理解
- ・働くことや学ぶことの意義の理解 など

育成を目指す資質・能力は？

「思考力，判断力，表現力等」

(2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。




- ・ 人間関係をよりよく形成するための多様な他者との協働
- ・ 意見の違いや多様性を踏まえ、よりよく合意形成を図ること
- ・ 自己実現に向けて、将来を見通した自己の生き方の選択・形成など

育成を目指す資質・能力は？

「学びに向かう力，人間性等」

(3) 自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，**集団や社会における生活**及び**人間関係**をよりよく**形成**するとともに，自己の生き方についての考えを深め，**自己実現**を図ろうとする態度を養う。

- 
- ・ 多様な他者と協働し、集団や生活上の諸問題を解決し、よりよい生活や人間関係を形成しようとする
 - ・ 日常の生活や自己の在り方を主体的に改善しようとするなど

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせるとは？

各教科等における見方・考え方を**総合的に働かせながら**、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること

各活動・学校行事の目標は？

学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成**し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために**意思決定**して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、**第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。**

各活動・学校行事の目標は？

児童会活動の目標

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、**第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。**

各活動・学校行事の目標は？

クラブ活動の目標

異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する
集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取
り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、**第1の目標**
に掲げる**資質・能力を育成することを目指す。**

各活動・学校行事の目標は？

学校行事の目標

全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、**第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。**

学級活動の内容はどう変わったの？

現行学習指導要領

- (1) 学級や学校の生活づくり
- (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全



新学習指導要領

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

学級経営の充実を図るための視点は？

第1章 総則 第4 児童の発達の支援 1(1)

- (1) 学習や生活の基盤として、**教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係**を育てるため、日頃から**学級経営の充実**を図ること。

第6章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(3)

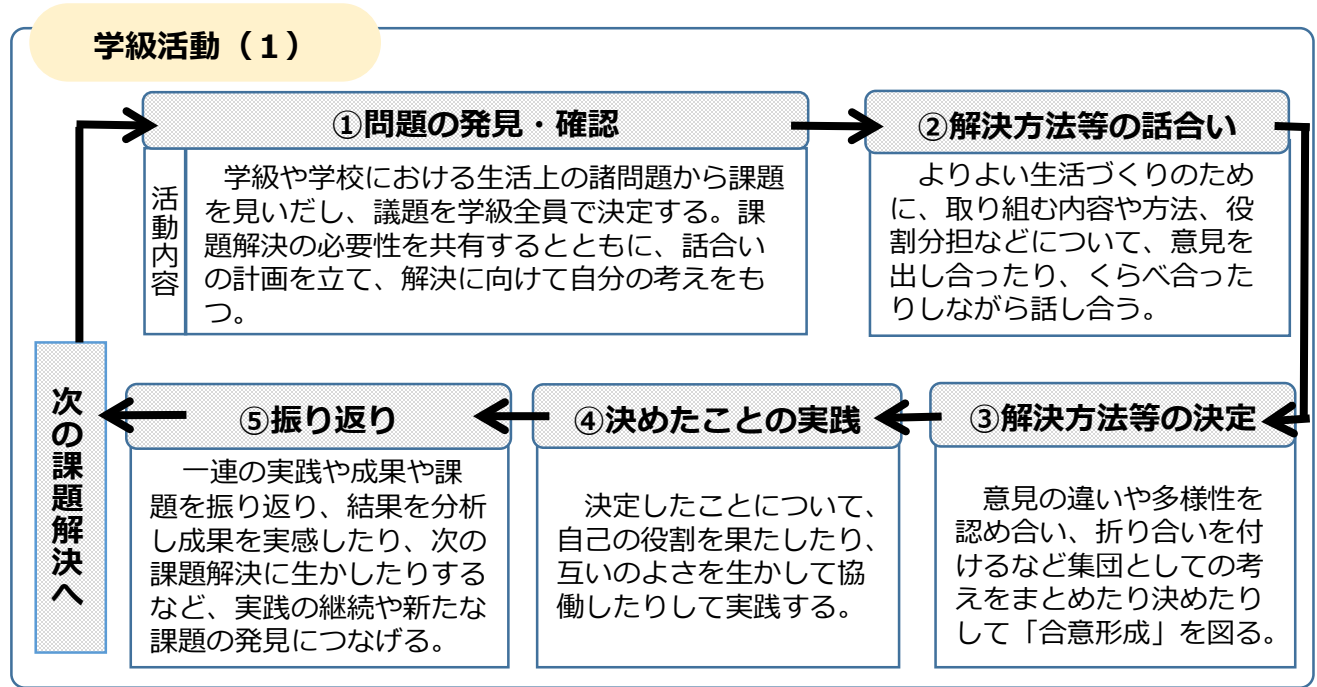
- (3) **学級活動における児童の自発的、自治的な活動を中心**として、各活動と学校行事を相互に関連付けながら、個々の児童についての理解を深め、**教師と児童、児童相互の信頼関係**を育み、**学級経営の充実**を図ること。
その際、特に、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図るようにすること。

特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現とは？

- 集団活動をよりよくするために何をすればよいかを主体的に見いだすこと。
- 多様な他者との対話、交流などを通して自己の考えを発展させること。
- 課題の設定から振り返りまでの一連の活動を「実践」と捉え、**基本的な学習過程を繰り返す中で**、各教科等の特質に応じた見方・考え方を**総合的に働かせ**、各教科等で学んだ知識や技能などを、集団及び自己の問題の解決のために活用すること。

資質・能力の育成につながる学習過程とは？

学級活動（１）「学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程の例

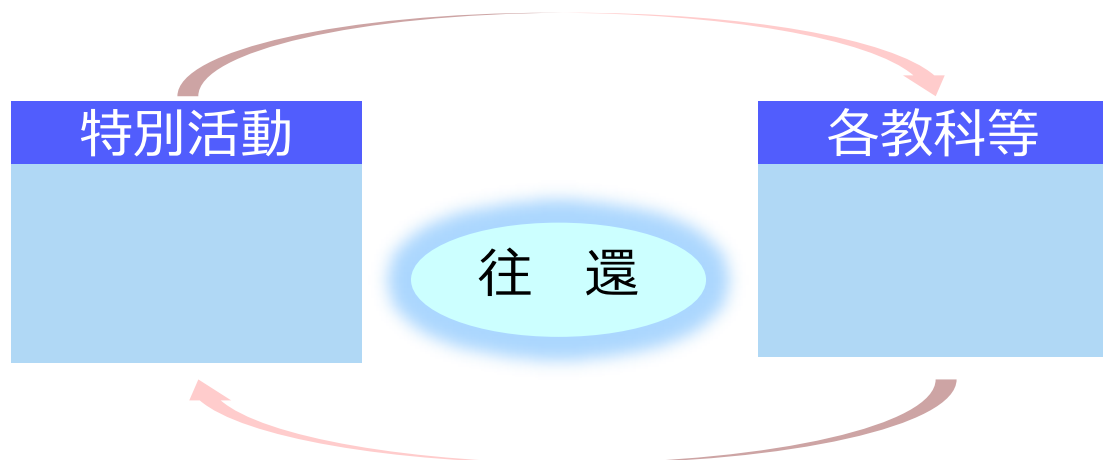


○実践の成果や課題を振り返り、次の課題解決に生かす。

各教科等との往還の関係とは？

【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】

各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現や、学びに向かう主体的で協働的な集団づくりの基盤となる



【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】

各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動・学校行事での実践に生かす

特別活動に期待されることは？

- 各教科等で学んだことを総合的に活用し、実生活や実社会で生きて働く汎用的な力に高めること。
- 学級経営の充実に資すること。
- 学校における教育活動全体で行うキャリア教育の要としての役割を果たすこと。
- いじめの未然防止等、生徒指導の中心的な役割を果たすこと。

これらの期待に向けて、特別活動の充実に
図る。